

令和 7 年度

## 第5次総合振興計画事務事業評価シート(様式1)

提出日	R7.6.19
担当	にぎわい創出課
グループ名	地域振興グループ
記入者名	

## 1 事業概要

(1)事業名	魅力発信拠点運営費				(2)事業種別 (新規・継続)	継続	(3)事業性格 (政策・一般)	政策事業
(4)第5次総合振興計画での位置づけ					(5)予算・財源等の別			
①基本目標	活力ある産業のまち〈産業の振興〉				①会計区分	一般会計		
②大項目	観 光				②財源区分	町単独		
③中項目					③予算科目	款	7	項 1 目 3
④施策					④予算事業名	魅力発信拠点運営費		
⑤施策コード	6.4.0.0	掲載ページ	105	ページ				
(6)実施根拠					(7)総合戦略			
①事務分類(自治・法定受託)		自治事務			①総合戦略 (該当事業名)		魅力発信拠点運営費	
②根拠法令・条例等								
③事業期間	開始	令和2	年	4 月から	終了	未定	年	月まで

## 2 事業の目的・内容等

(1)目的(何のために行うか)	(2)内容(どのような取り組みか)
小川町駅前に立地する旧二葉支店を改修した建物「むすびめ」を、以下の用途に供し、来訪者のニーズに応え町の魅力発信の拠点とする。 1. 観光案内所 2. 無料休憩所(バス待ちスポット) 3. 移住サポートセンター 4. サイクルスペース(レンタサイクル拠点)	令和3年4月から観光案内所・移住サポートセンター「むすびめ」として開業し、観光案内と移住サポートセンターを同一団体に運営させることにより連携を強化し、交流人口を増加させるとともに関係人口や定住人口の増加を図っている。
(3)対象(誰に対して、何に対して行うか)	(4)成果イメージ(どのような状態になることを目指すか)
・観光客(国内外) ・町民 ・事業者 ・移住希望者	交流人口・関係人口を増加させることで農林業や商工業の発展につながり、町への移住・定住のきっかけとなり、活性化が期待できる。
対象数	— 単位 —

## (5)事業を取り巻く環境(社会環境や町民ニーズ等)

令和2年度まで駅から約180m離れた場所で民間建物を借りて運営していたが、令和元年6月に立地条件が良い当地の借地権付建物を取得し、令和2年度に改修工事を実施、令和3年4月から観光案内所と移住サポートセンターを併設した「むすびめ」を開業した。町の玄関口である駅前において観光案内やPRすることで、より効果が期待できる。

## (6)SDGsへの貢献

8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	11 住み続けられるまちづくりを
--------------	-------------------	------------------

## 3 事業のコスト(実績・決算・予算) (単位:千円)

(1)事業(内容)名称						
項目	魅力発信拠点運営費					
決算・予算年度	R3年度決算	R4年度決算	R5年度決算	実施年度(R6年度)決算	今年度(R7年度)当初予算	
(2)事業費内訳						
報酬	0	0	0	0	0	
報償費	0	0	0	0	0	
需用費	0	0	0	10	0	
役務費	31	221	221	221	222	
委託料	6,259	0	19,573	17,886	0	
その他	1,568	8,677	14,501	9,275	8,786	
直接事業費合計	7,858	8,898	34,295	27,392	9,008	
(3)財源内訳						
国庫支出金	0	0	0	0	0	
県支出金	0	0	7,000	0	0	
地方債	0	0	0	0	0	
その他特定財源	3,000	3,000	3,000	0	0	
一般財源	4,858	5,898	24,295	27,392	9,008	
合計	7,858	8,898	34,295	27,392	9,008	
(4)補助金名	まちづくり寄附金	まちづくり寄附金	県ふるさと創造資金 まちづくり寄附金			
(5)人件費						
投入職員数	0.5	0.5	0.6	0.5	0.5	
年間人件費	3,814	3,771	4,513	3,886	4,016	
(6)総事業費	11,672	12,669	38,808	31,278	13,024	
サービス量(人)	494,799	699,362	693,587	587,363	780,000	
サービス単価	23.6	18.1	56.0	53.3	16.7	
(単位)	円/入込観光客1人当たり					

4 指標の検証				魅力発信拠点運営費		
指標名		単位	R5年度決算	実施年度(R6年度)決算	今年度(R7年度)予算積算	
(1)活動指標(実施した事業の量)						
指標名		目標値				
		実績値				
		達成率				
		目標値				
		実績値				
		達成率				
(2)成果指標(実施した結果として得られた成果の量と達成度)						
指標名	観光案内所来訪者数	目標値	人	22,000	25,000	25,000
		実績値	人	27,446	29,067	
		達成率	%	124.8	116.3	
	移住希望者受付件数	目標値	件	200	200	200
		実績値	件	188	187	
		達成率	%	94.0	93.5	
(3)その他指標に現れない成果						
道の駅おがわまち再整備工事に伴い、令和5年8月から令和7年5月まで旧上野台中学校内に小川町特産品販売所を設置し、民間企業に管理運営を委託した。						
5 事業評価						
(1)項目別評価						
評価項目		評価		評価理由	評価した理由を選択してください。	
必要性	事業の必要性	1	1 必要性が高い 2 どちらともいえない 3 必要性が低い	3	1 事業の実施が関係法令等で定められている	
					2 住民や団体など外部から要望・要請が多い事業である	
					3 その他(公共性を保つ観光案内所が必要である)	
妥当性	実施主体の妥当性	1	1 妥当である 2 どちらともいえない 3 妥当性が低い	3	1 事業の主体が関係法令等で定められている	
	2 民間では事業を行っておらず、行政が主体となるべき事業である					
	手段の妥当性	1	1 妥当である 2 どちらともいえない 3 妥当性が低い	1	1 事業を行うのに民間活力(企業、NPO、ボランティアなど)を活用している	
					2 他に有効な代替手段が見当たらない	
					3 その他( )	
効率性	コスト効率性 人員の効率性	1	1 効率的である 2 どちらともいえない 3 効率性が低い	3	1 サービス単価は減少している	
					2 サービス単価を維持している	
					3 その他(期間限定である小川町特産品販売所の運営に経費を要した)	
公平性	受益者の偏り	2	1 偏りはない 2 どちらともいえない 3 偏りがある	2	1 公平に分配されている	
					2 おおむね公平に分配されている	
					3 その他( )	
有効性	成果の向上	1	1 成果が上がっている 2 どちらともいえない 3 成果が下がっている	1	1 成果指標は、目標値より実績値が上回っている	
					2 成果指標は、前年度より向上している	
					3 その他( )	
進捗度	事業の進捗	1	1 順調に進んでいる 2 概ね順調である 3 あまり順調に進んでいない	1	1 年度内に予定した事業は完了した	
					2 年度内に予定した事業の8割以上は完了した	
					3 その他( )	
(2)総合評価(上記結果を踏まえて、今後の課題と対応を記載してください。)						
観光案内所「むすびめ」は、運営受託者である民間団体が運営手法を工夫するとともに積極的な情報発信を行うことで来場者の増加を達成している。引き続き町観光協会との連携を密にし、来場者数増やす取り組みの継続が必要である。						
6 事業の方向性の判断						
		1 拡充 2 現状維持 3 縮小・統廃合				
評価主体	評価	評価についての説明				
(1)一次評価 (担当課長)						
(2)二次評価 (政策推進課長)						
(3)最終評価 (町長)	1 拡充	道の駅おがわまちと連携し、町の活性化及び移住者の増加に向けて、継続して事業を行う。				